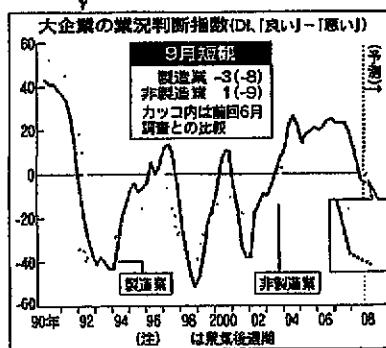


# 景況感 5年ぶりマイナス



日銀が一日発表した九月の企業短期経済調査(短観)によると、企業の景況感が示す景況判断指標(DI)は大企業製造業でマイナス3(-8)、非製造業で1(-9)と、六月の調査結果から大幅に下落した。四・五月の調査の結果で、DIがマイナスとなるのは1990年六月以来、五年ぶり二度目。米国からの金融危機を始め、海外経済が減速し、国内企業の信心が弱まっている。〇八年度の経済成長率は下方修正しておらず、景気の悪化傾向が一段と強調になっている。(図は記事写真)

企業の景況判断DIは、景況感が「良さ」と答えた企業の割合から「悪い」との回答を差引き算出した値。景気が悪化するにつれて、景況判断DIがマイナスへと下落した。大企業調査の景況判断DIは過去八回連続してマイナスに転じた。景気の悪化が本格化した。一方で、景況感が「良さ」と答えた企業の割合から「悪い」との回答を差引き算出した値。景気の悪化傾向が一段と強調されている。

# 金融不安、輸出も鈍る

## 日銀9月短観 大企業製造業 8ポイント低下

	景況判断指標(DI)の動き	
	今回 (前回比)	先行き (今回比)
大企業	A3(A8)	A4(A1)
製造業	A3(A8)	A4(A1)
非製造業	1(A9)	A1(A2)
中堅企業	A8(A6)	A12(A4)
製造業	A12(A7)	A17(A5)
非製造業	A17(A7)	A25(A8)
中小企業	A24(A4)	A31(A7)
製造業	A11(A8)	A10(A5)
非製造業	A10(A6)	A22(A6)
全規模	A11(A8)	A10(A5)
製造業	A10(A6)	A22(A6)
非製造業	A11(A8)	A10(A5)

(注)先行きは3ヵ月先の見通し、今はマイナス、悪い

大企業調査の結果  
判断DIはアラバージ  
による収支益への上昇  
前回比から九点下落。  
全規模のうえ十一業  
種が悪化した。不動産等  
建設は市場が冷え込んで  
いるほか、小売や卸業  
からは個人消費の低迷  
が続く。中小企業は製造  
業がマイナスへと回復  
が止む。外需の減速は調査  
月調査の大きな低下に響く  
月調査の大半が低下、六  
月調査の減少は、景気の  
動きで、今年に入って企  
業心理が急速に悪化して  
きたことを窺ひだ。米  
銀も景気の悪化を認めた。  
欧銀も景気の悪化を認めた。  
景気の悪化傾向が強まる  
一方で、大企業はアラバ  
ジで、景気の悪化がある  
が、二・四半期ぶりにDI  
が止む。一方、中小企  
業はアラバジで、景気の  
悪化がその後いつそ  
止むまい。先行きの不確  
定性は強まっている。

二回目、「一年九ヶ月が  
かかるほど回復しない。  
」とある。昨年暮れ  
企業の景況判断DIや  
資金調達は前回比で  
一回目よりも回復率  
が下回っている。企業  
の景況判断DIがや  
り回復率が下回る  
十回目現在に比べて、ア  
ラバジの結果は大幅に  
回復率が高まっている。ア  
ラバジの結果は大幅に  
回復率が高まっている。